

[2023年9月29日開催]

<サロン事務局>

## 第2回革新的製品創出サロン（開催後記）

「モビリティ」の統一テーマの下に、講演1「先進ビークル研究～カメラを用いた自車位置推定～」と、講演2「合成燃料（e-fuel）の製造技術と課題」の2件を拝聴しました。講演後、今年新しく参加された企業様より自社紹介プレゼン、会員企業様より出展予定イベントのご紹介があり、最後に同会場のコーナーにて、ネットワーク構築に向けたワンコイン交流会を開催しました。

### ★ご講演1. 「先進ビークル研究 ～カメラを用いた自車位置推定～」

講師 名古屋大学大学院 情報学研究科知能システム学専攻 准教授

名古屋大学モビリティ社会研究所 先進モビリティ研究部門 副部門長 出口 大輔 氏

- ・自動運転車両や知能化ロボットなどの開発において、周囲環境の詳細な把握は欠くことのできない重要な技術となっており、カメラを用いた環境認識が近年大きな注目を集めています。カメラの性能向上や機械学習技術の発展に伴い、その性能は年々向上してきており、様々な応用で利用されるようになってきています。本講演では自動運転の一丁目一番地として環境認識を取り上げ、カメラを用いた自車位置推定や人物の属性認識などを中心にお伺いしました。
- ・深層学習の発展に伴って、画像ベースでの遠方歩行者のアイコンタクトの検出も精度が向上しており、その応用として特に工業製品の Texture 上で、検出困難な欠陥検出（Anomaly detection）への適用が期待されます。

### ★講演2. 「二酸化炭素と水と再生可能エネルギーから製造する合成燃料（e-fuel）の製造技術と課題」

講師：成蹊大学理工学部 理工学科 教授 里川 重夫 氏

- ・2050年のカーボンニュートラル（CN）に向けて、合成燃料への期待が高まっています。CO<sub>2</sub>とH<sub>2</sub>から人工的に作られる燃料であり、EUは本年3月、エンジン車の新車販売を2035年から禁止する方針を転換し、合成燃料の使用を条件に販売継続を認めました。大気中のCO<sub>2</sub>を回収して作ればCNとなり、実用化できれば現在のエンジン車や航空機用途でのCNへの可能性が広がるため注目されています。
- ・合成燃料のメリット、回収時の注釈、コスト軽減努力、EC諸国の国際戦略への対応等をご紹介され、課題を持ちながらも、実用化はどの程度見えてきているのかをお伺いしました。

### ★自社紹介 大同メタル工業株式会社 新規ビジネス推進ユニット 上席執行役員 渡部 晃 氏

- ・同社は1939年設立、名古屋市中区に本社を置く。すべり軸受けの世界シェアトップのメーカーである。世界中の大型船舶の3隻に2隻以上が同社の製品を搭載し、自動車エンジン用軸受けでは世界中で走るクルマの3台に1台以上が搭載しているとの事。
- ・会社説明パンフレットから再編集された資料で分かりやすく、同社のイメージが掴めた印象。

### ★あいちモノづくりエキスポ2023への出展アナウンス

- ・日程：2023年10月5日（木）～10月6日（金） ・場所：AICH SKY EXPO（愛知県国際展示場）
- ・出展会員企業：（有）名南機械製作所、鈴木化学工業所（中部TLOより招待）他、関連団体等

### ★ワンコイン交流会（セミナー会場内コーナー）

- ・もう少し時間が欲しいとの声を聴きつつ、18時30分閉会。

以上